

[色紙立て] 作業順序メモ

NPO 法人ふくてっく 木工部 2010.7.25

1. 部品の確認

① 上棧 (一番長い棧)	1 本	② 下棧 (一番短い棧)	1 本
⑤ ~⑬ 棧	11 本	⑭ 色紙受け (小袋入り)	3 個
⑮ 支え (両端斜め切断)	1 本	⑯ 色紙 (配布)	1 枚

2. 作業に必要なもの (主催者側で用意するもの)

- ① 作業順序メモ (この用紙)、 ② 現寸図面 ③ ボンド受け用紙 (A5 大二つ折り)
④ 紙ヤスリ ⑤ 両面テープ (又はメンディングテープ) ⑥ 速乾性ボンド ⑦ ハサミ
⑧ 絵を描く道具 (主催者用) ⑨ セロテープ

3. 各部材の角と小口のバリに、紙ヤスリをかける。

4. 現寸図を机の上に、動かないようにセロテープで止める。

5. ①上棧 の両端を、小さく切った両面テープで、図面に貼る。この時もし図面との長さが違えば、左右でバランスを取る。断面の平の方 (長い方) を上にする。

6. ②下棧 も同様に貼る。

7. 次に貼る棧 1 1 本は、断面 8mm×10mm で、平の方 (長い方) を上面にする。この面が表面 (おもてめん) になるので、材の裏表を選択しておく。

8. 縦中央に 棧③ を下の図面に位置を合わせ、①、② との棧の交点をボンドで貼り付ける。特に下端は下図の線に、きっちりと合わせること。

8. ④、⑤、⑥、⑦、⑧ と 5 本、中央より右へ、中央の 棧③ と同様に、順番にボンドで貼り付ける。この時下端の角を、下図はあくまで参考に、中央の棧に寄せて貼る。

9. 同様に中央より左へ ⑨、⑩、⑪、⑫、⑬と貼る。

10. ⑭色紙受け を下部 2 カ所を左右水平に付ける。このとき臨時に「支え」の部材を定規に使うと付けやすい。上部 1 カ所は、⑯色紙 の縦より少し広めに貼り付ける。

11. 少し時間 (3分程度) をおいて、ボンドの乾くのを待つ。
この間、色紙に文字、絵など好きなものを描く。

12. ボンドが乾いたら、「色紙立て」の上・下棧の端を、1 カ所ずつ少し持ち上げて、図面より両面テープを剥がす。

13. ひっくり返す。この面が裏面となる。ここへ ⑮支え についた金具を、中央棧①の金具差し込み穴に差し込む。

14. 「色紙立て」を立て、⑯色紙 をのせて完成。

15. 杉箸を棧に利用する場合は、先端を約 3cm カットして、有効部分を同寸とするとよい。